

皇室の菩提寺・御寺(みてら)泉涌寺 秋の特別拝観

# 12年に一度の限定公開、舍利殿特別公開。 狩野山雪による『雲龍図』他、仏牙舍利を守り続ける日本 最古級の『韋駄天(いだてん)』立像などを特別公開。 2024年11月9日～12月1日まで

泉涌寺（京都市東山区）では、秋の特別公開として、2024年11月9日より12月1日まで、通常非公開の舍利殿を特別公開いたします。本公開は、「第60回京都非公開文化財特別公開」(\*)の事業の一環として、昭和40年にはじまった文化財愛護の普及啓発事業で、文化財を公開することにより、文化財保護の関心を高めるという趣旨のもとに実施されるものです。

泉涌寺は四条天皇以来、皇室の御菩提所として歴代天皇御葬儀の多くが営まれ、江戸時代に入ると歴代天皇・皇后らの陵墓が境内に設けられ、以後全国にひとつしかない御寺として、脈々と守り受け継がれてきました。

一般への公開が許されたのは、昭和30年代に入ってからのことです。

今回の特別公開では、これまで一般に公開されることがほとんどなかった舍利殿内陣の『韋駄天(いだてん)像』他、12年に1度辰年に公開される狩野山雪筆『雲龍(うんりゅう)図』の鳴き龍体験を期間限定で実施いたします。泉涌寺の舍利殿は、仏牙舍利(釈迦の歯)を奉安する貴重な霊殿で、仏牙とは、仏の歯のうち4本しかない犬歯のことで、そのうちの1本が泉涌寺に祀られております。仏法を説いた釈迦の口元にあったため、他の仏舎利よりありがたいとされています。

公開期間に合わせて、秋季限定の御朱印に加え、舍利殿鳴き龍の限定御朱印を授与いたします。紅葉の御座所庭園と合わせて是非お参りください。

\*「第60回京都非公開文化財特別公開」泉涌寺舍利殿拝観には、泉涌寺にお納めいただく拝観料とは別途、1,000円(中高生500円)をお納めいただきます。



狩野山雪による『雲龍図』



『韋駄天(いだてん)』立像



『御座所』の紅葉



舍利殿鳴き龍限定御朱印



秋季限定御朱印

## 800年の時を越え、色鮮やかに護り受け継がれる 泉涌寺の秘宝。楊貴妃観音像

泉涌寺の大門をくぐってすぐ左手奥にある御堂には、寛喜2年(1230)に南宋から請来した木像の聖観音(楊柳観音)が安置されています。像容の美しさから、玄宗皇帝が亡き楊貴妃の面影を写させて造像したとの伝承を生み、江戸時代初め頃から「楊貴妃観音像」と呼ばれ信仰される泉涌寺の秘宝です。

800年の月日を越えてもなお彩色が多く残り、生けるが如くに端坐する御姿は、その名に相応しい尊像です。

昨今では容姿だけでなく、また性別にかかわらず、人としての内面、心も美しくありたいと願う多くの人々から美人祈願の観音様として親しまれています。



『楊貴妃観音像』 撮影：佐々木 香輔

泉涌寺は来る令和8年に、開山俊苾律師800年御遠忌を迎えます。

605-0977

京都市東山区泉涌寺山内町27 総本山 御寺 泉涌寺

電話:075-561-1551

<https://mitera.org/>



真言宗泉涌寺派總本山

御寺 泉涌寺

Mitera Sennyuji Temple